

承認番号	2020-211
研究課題名	小児の炎症性疾患の重症化に関与する因子についての研究
研究の意義・目的	小児の炎症性疾患は感染症、免疫異常、川崎病、脳炎、脳症、炎症性腸疾患などを含む。重症例では長期的な免疫療法を必要としたり、合併症や神経学的後遺症のために長期間の在宅加療を必要とする。我々はこれらの疾患の、特に重症化に視点をおき、次の項目を検討する。①炎症の原因の精査。急性期に検体を採取し、炎症性変化の考察、ウイルス学的な検討を行う。②バイオマーカーの測定および検索。炎症性疾患におけるプテリジンおよび各種サイトカイン解析を行う。③臨床的な重症度のスコアリング。様々な疾患における症状を数値化する。病態の解明により、予後の予測が可能となり、安全で適切な治療方針の決定が可能になるなど臨床の現場に直結し、さらにワクチン開発などの治療法の開発に寄与するなど公衆衛生学的にも意義のある研究につながると考えている。
研究を行う期間	承認後 ～ 2027年3月31日（西暦）
研究対象者の範囲	2010年4月1日から2027年3月31日の期間に大阪公立大学医学部附属病院の小児科・新生児科または関連病院で、小児炎症性疾患の診断、治療のため受診された方。
お願いする内容	共同研究機関から試料・情報の提供を受けて研究します。
	血液、髄液、検査データ、診療記録などの情報
頂いた試料・情報の管理について責任者	濱崎 考史
この研究を行っている施設（共同研究機関）	市立柏原病院、和泉市立総合医療センター、西宮市立中央病院、社会福祉法人大阪府済生会千里病院、医療法人宝生会PL病院
代表施設のURL	https://www.omu.ac.jp/med/pediat/
研究の成果を公表する方法	研究成果を学会や研究会の場で報告し、その後論文を作成し公表する。内容については適宜ホームページ内などに公表する。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 発達小児医学 教授 濱崎 考史 〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 Tel: 06-6645-3816 FAX:06-6636-8737